

新政佐野行政視察報告書

(平成23年10月26日～28日)

愛知県碧南市 : 農業活性化センターあおいパークについて
及び市役所庁舎について

岐阜県高山市 : 市街地活性化について
及び市役所庁舎について

新政佐野行政視察報告書（平成23年10月26日～28日）

参加者 岩崎俊道、林敬忠、荒井仁市、蓼沼一弘、井川克彦、小暮博志 以上6名

26日(水)視察：愛知県碧南市 農業活性化センターあおいパークについて 及び市役所庁舎について

説明：あおいパーク園長 伊藤清和
議会事務局長 名倉敏男
議会事務局議事課課長補佐 茶谷千房
議会事務局議事課庶務係長 筒井千賀子

農業活性化センターあおいパークについて

碧南市は、昭和32年衣浦港が重要港湾の指定を受けて大規模な臨界用地が造成され、市全体の約40%が埋め立てによる市である。人口は約73,100人で、臨界部の工業地帯には約150社が進出し、農業においては野菜指定産地の指定をうけて露地野菜産地となつている。

碧南市は経済的に裕福であり、自主財源比率も75.8%(全国7位)と高く、将来負担比率(一般会計に及ぶ負債の額)も無い。(因みに、佐野市の自主財源比率は51.3%、将来負担比率は67.8%。)

今回視察した農業活性化センターあおいパークは、都市との交流を基盤とした農業基盤の多角化等により農家の所得就業機会の創出で農業・農村の活性化を目指して、平成10年にオープンしたものである。

事業費：約17億6,000万円(内:補助金5億円)
施設：本館(産直市、レストラン、調理加工室、浴室、映像農業館)
鑑賞温室
体験農園(温室4棟、露地野菜)
市民農園(70区画)

コスト関係：年間管理コスト 約1億1,500万円。使用料等収入 約3,400万円

利用者数：1,076千人(平成22年、当初目標100千人)

農業と食と健康をテーマに、農業・農村の活性化をめざし、行政が積極的に進めている様子を聞くことができ大変参考になった。

見学の後、意見交換を行なった。

- (1) 碧南市の耕地面積は全体で921ヘクタール、内訳は田395ヘクタール、畑526ヘクタールである
- (2) 碧南市の反収は、ニンジン10アールあたり約60万円、玉ねぎ10アールあたり約94万円。
- (3) 碧南市の給食センターでの地産地消は、食材60品目の内18品目(30%)が碧南市産。
- (4) 利用者数も多く、もう少し収入も増えても良いのではないか。等

市役所庁舎について

平成11年度に完成した庁舎の調査と見学をして来ました。

今、佐野市でパブリックコメントを進めている新庁舎との比較を、表1に示す。

佐野市と比較して、敷地面積が1.61倍、職員当たりの床面積も1.36倍と大きく、余裕のある庁舎であった。参考として、写真を撮らせて頂いた。

[議会運営関係]

議会の質問の方式は、一括答弁方式または一問一答方式の選択制。持ち時間は1時間以内で、質問時間は30分を保障。一括方式の質問回数は3回までであった。

27日(木)視察：岐阜県高山市 市街地活性化について 及び市役所庁舎について

説明： 商工観光部商工課 市街地活性化推進室室長 橋本宏
議会事務局 書記 中井亜紀子

市街地活性化について

高山市は、人口約92,800人で、面積も日本で一番大きな市である。

京都の祇園祭、秩父の夜祭とともに日本三大美祭と讃えられてきた高山祭がある高山市は、平成22年度から平成26年度まで、中心市街地活性化基本計画を実施している。

年間の観光客数が約400万人いる市の状況も視察してきた。

説明によると、平成11年を100%とした場合、中心市街地の人口は平成21年度85.1%で、市全体の減少率97.1%より大きくなっている。原因として、モータリゼーションの進展、核家族化、生活様式の多様化等を考えている。

その対策として、中心市街地人口と商店街形成区域内の営業店舗数の増加を考えている。

事業として、まちなか居住促進プロジェクトや空き家・空き店舗活用プロジェクトを立ち上げている。

まちなか居住促進プロジェクト(H22事業費285,996万円)では、次の様な補助制度を設けている。

- ①まちなか定住促進事業(自己住宅の新築、所得、改修に要する費用補助)
- ②まちなか集合住宅促建設促進事業(賃貸住宅の新築、所得、改修に要する費用補助)
- ③まちなか居住推進パートナーシップ事業(中心市街地外から内への、登録借家への家賃等の補助)

高山市内には多くの観光客が見られ、佐野市の観光客数約700万人とは大きく様相が違っていた。

平日でも、街中には多くの観光客がみられ、朝市も賑わいを呈していた。

佐野市も、観光立志のためには、もっとハード面の開発が必要と感じた。

予算を見ても、高山市の商工費は約43億円(一般会計構成比9.2%)と、佐野市の約21億円(3.3%)より多く向けている。

又、高山市農業の生産高は約130億円と、佐野市農林業約41億より、約3倍も大きい。その要因として、高山市では朝市が盛んであり、観光客にたいする販売が影響しているとも考えられる。

(400万人*1,000円/人=40億円。佐野市も朝市でアウトレット客を呼べないか?)

市役所庁舎について

平成8年度に完成した庁舎の調査と見学をして来ました。

今、佐野市でパブリックコメントをしている新庁舎との比較を、表1に示す。

佐野市に比較して、敷地面積が1.91倍、職員当たりの床面積も0.76倍の庁舎であった。

内装は地場産の木材を取り入れ、落ち着いた雰囲気のある霧囲気に作られていた。

参考として、写真を撮らせて頂いた。

[議会運営関係]

議会の質問の方式は、平成23年6月定例会より一括方式または一問一答方式の選択制。

一括方式は発言時間1人40分で5回以内。一問一答方式は、持ち時間1人60分であった。

表1. 庁舎の比較

	碧南市	高山市	佐野市(案)
人口 (人)	73,100	92,800	124,100
完成年	平成11年度	平成8年度	平成26年度
計画・設計期間 (年)	3		2
建設期間 (年)	3		2
延床面積 (m ²)	17,783	14,458	16,000
職員数 (人)	450	656	550
来庁者駐車場 (台)	196	157	200
外駐車場 (台)	50		—
公用車駐車場 (台)	92	57	
敷地面積 (m ²)	12,000(1.61)	14,212(1.91)	7,432(1.00)
本体事業費 (億円)	65.2	61.7	56
付帯設備・備品等 (億円)	4.9		3.2
設計等 (億円)	2.3		1.95
立体駐車場 (億円)	—	7.37	5.25
旧庁舎解体費 (億円)	1.7		
その他	3.3		1.6
費用合計 (億円)	地下1階/地上8階 77.4 (その他とし土地取得 6.6億円)	地下1階/地上6階 83.7	(地上8階?) 68
職員当たりの床面積 (m ² /人)	39.5	22.0	29.1
床面当たりの本体費 (万円/m ²)	36.7	42.7	35.0

1.36 0.76

1.05 1.22

、
討
る

)。

